## 平成18年度詳細環境調査分析機関報告データ

+D + 1 + 1 + 5	理本社免物質 地方 地点 理本地点		AD-#- U.S.	測定値 (評価値)			報告時
調査対象物質	公共団体	番号		検体1	<b>検体2</b>	検体3	検出下限値
[18] 水素化テルフェニル	北海道		日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd	nd	nd	0.52
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県	2	山田湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.52
地点ベース検出頻度:2/10(欠測等:0)	宮城県		仙台湾(松島湾) スズキ	nd	nd	nd	0.52
検体ベース検出頻度:5/30(欠測等:0)	東京都		東京湾 スズキ	nd	nd	nd	0.52
検出範囲:nd ~ 0.81	川崎市		川崎港扇島沖スズキ	0.10	nd	0.81	0.52
検出下限値範囲: 0.52	大阪府	6	大阪湾スズキ	0.13	0.13	0.14	0.52
検出下限値: 0.52	島根県		島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.52
要求検出下限値:0.1	広島市		広島湾 スズキ	nd	nd	nd	0.52
	徳島県 鹿児島県		鳴門 イガイ 薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.52 0.52
[18-1] 水素化テルフェニル(HT242a)	北海道		隆摩王島四岸 ススキ  日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd nd	nd nd	nd nd	0.52
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県		山田湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.08
地点ベース検出頻度: 1/10(欠測等:0)	宮城県		仙台湾(松島湾) スズキ	nd	nd	nd	0.08
検体ベース検出頻度:1/30(欠測等:0)	東京都		東京湾スズキ	nd	nd	nd	0.08
検出範囲:nd~0.18	川崎市		川崎港扇島沖 スズキ	nd	nd	0.18	0.08
検出下限値範囲:0.08	大阪府		大阪湾 スズキ	nd	nd	nd	0.08
検出下限値:0.08	島根県		島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.08
要求検出下限値:0.1	広島市	8	広島湾 スズキ	nd	nd	nd	0.08
	徳島県		鳴門 イガイ	nd	nd	nd	0.08
	鹿児島県		薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.08
[18-2] 水素化テルフェニル(HT242b)	北海道		日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd	nd	nd	0.09
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県		山田湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.09
地点ベース検出頻度: 1/10(欠測等: 0)	宮城県		仙台湾(松島湾) スズキ	nd	nd	nd	0.09
検体ベース検出頻度:1/30(欠測等:0)	東京都		東京湾 スズキ	nd	nd	nd	0.09
検出範囲:nd ~ 0.16	川崎市		川崎港扇島沖ースズキー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	nd	nd	0.16	0.09
検出下限値範囲:0.09	大阪府		大阪湾 スズキ 島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd nd	nd nd	nd	0.09
検出下限値:0.09 要求検出下限値:0.1	島根県 広島市		島根丰島沿岸七類湾 ムフザキイガイ  広島湾 スズキ	nd nd	nd nd	nd nd	0.09
女小汉山下院世,0.1	一 広島巾 徳島県		広島湾 ススキ  鳴門 イガイ	nd nd	nd nd	nd nd	0.09
	地名 他 他 他 他 他 他 是		晦  コガコ  薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.09
 [18-3] 水素化テルフェニル(HT242c)	北海道		日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd	nd	nd	0.03
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県		山田湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.02
地点ベース検出頻度:0/10(欠測等:0)	宮城県		仙台湾(松島湾) スズキ	nd	nd	nd	0.02
検体ベース検出頻度:0/30(欠測等:0)	東京都		東京湾 スズキ	nd	nd	nd	0.02
検出範囲:nd	川崎市	5	川崎港扇島沖 スズキ	nd	nd	nd	0.02
検出下限値範囲:0.02	大阪府		大阪湾 スズキ	nd	nd	nd	0.02
検出下限値: 0.02	島根県		島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.02
要求検出下限値:0.1	広島市		広島湾 スズキ	nd	nd	nd	0.02
	徳島県		鳴門 イガイ	nd	nd	nd	0.02
10 41 +V = /V = 11 = 1 = 11 (2000 40 1)	鹿児島県		薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.02
[18-4] 水素化テルフェニル(HT242d)	北海道		日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd	nd	nd	0.05
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県 宮城県		山田湾 ムラサキイガイ	nd nd	nd	nd nd	0.05
地点ベース検出頻度:0/10(欠測等:0) 検体ベース検出頻度:0/30(欠測等:0)	東京都		仙台湾(松島湾) スズキ 東京湾 スズキ	nd nd	nd nd	nd nd	0.05
快体ペース快山頻度:0/30(火焼寺:0)   検出範囲:nd	川崎市		宋ぶ海 ススキ   川崎港扇島沖 スズキ	nd nd	nd	nd nd	0.05
検出下限値範囲:0.05	大阪府		大阪湾 スズキ	nd	nd	nd	0.05
検出下限値載因:0.05   検出下限値:0.05	島根県		八阪/号 スペイ  島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.05
要求検出下限値:0.1	広島市		広島湾 スズキ	nd	nd	nd	0.05
	徳島県		鳴門 イガイ	nd	nd	nd	0.05
	鹿児島県		薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.05
[18-5] 水素化テルフェニル(HT236a)	北海道		日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd	nd	nd	0.10
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県	2	山田湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.10
地点ベース検出頻度:2/10(欠測等:0)	宮城県		仙台湾(松島湾) スズキ	nd	nd	nd	0.10
検体ベース検出頻度:5/30(欠測等:0)	東京都		東京湾 スズキ	nd	nd	nd	0.10
検出範囲:nd ~ 0.34	川崎市		川崎港扇島沖 スズキ	0.10	nd	0.34	0.10
検出下限値範囲:0.10	大阪府		大阪湾 スズキ	0.13	0.13	0.14	0.10
検出下限値: 0.10	島根県		島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.10
要求検出下限値:0.1	広島市		広島湾 スズキ	nd	nd	nd	0.10
	徳島県		鳴門 イガイ	nd	nd	nd	0.10
(注1)「欠測等」とは、測定値が得られなかっ	鹿児島県	10	薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.10

(注1)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

<sup>(</sup>注2) nd:不検出

<sup>(</sup>注3) は同族体ごとの検出下限値の合計とした。

<sup>(</sup>注4)水素化テルフェニルについては、標準物質(工業製品)のクロマトグラムにおいて得られた7本のピークのうち、分子量242のものをHT242a~HT242dとし、分子量236のものをHT236a~HT236cとして測定、定量した。

調査対象物質	地方	地点	調査地点	測定値 (評価値)			報告時
则且23然彻具	公共団体	番号	响鱼地总	検体1	検体2	検体3	検出下限値
[18-6] 水素化テルフェニル(HT236b)	北海道	1	日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd	nd	nd	0.09
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県	2	山田湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.09
地点ベース検出頻度:1/10(欠測等:0)	宮城県	3	仙台湾(松島湾) スズキ	nd	nd	nd	0.09
検体ベース検出頻度:1/30(欠測等:0)	東京都	4	東京湾 スズキ	nd	nd	nd	0.09
検出範囲:nd~0.13	川崎市	5	川崎港扇島沖 スズキ	nd	nd	0.13	0.09
検出下限値範囲:0.09	大阪府	6	大阪湾 スズキ	nd	nd	nd	0.09
検出下限値:0.09	島根県	7	島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.09
要求検出下限値:0.1	広島市	8	広島湾 スズキ	nd	nd	nd	0.09
	徳島県	9	鳴門 イガイ	nd	nd	nd	0.09
	鹿児島県	10	薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.09
[18-7] 水素化テルフェニル(HT236c)	北海道	1	日本海沖(岩内沖) アイナメ	nd	nd	nd	0.09
詳細・生物(ng/g-wet)	岩手県	2	山田湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.09
地点ベース検出頻度:0/10(欠測等:0)	宮城県	3	仙台湾(松島湾) スズキ	nd	nd	nd	0.09
検体ベース検出頻度:0/30(欠測等:0)	東京都	4	東京湾 スズキ	nd	nd	nd	0.09
検出範囲:nd	川崎市	5	川崎港扇島沖 スズキ	nd	nd	nd	0.09
検出下限値範囲:0.09	大阪府	6	大阪湾 スズキ	nd	nd	nd	0.09
検出下限値:0.09	島根県	7	島根半島沿岸七類湾 ムラサキイガイ	nd	nd	nd	0.09
要求検出下限値:0.1	広島市	8	広島湾 スズキ	nd	nd	nd	0.09
	徳島県	9	鳴門 イガイ	nd	nd	nd	0.09
	鹿児島県	10	薩摩半島西岸 スズキ	nd	nd	nd	0.09

<sup>(</sup>注1)「欠測等」とは、測定値が得られなかった検体又は検出下限値を統一したことによりここでの集計の対象から除外された検体

<sup>(</sup>注2) nd:不検出

<sup>(</sup>注3) 水素化テルフェニルについては、標準物質(工業製品)のクロマトグラムにおいて得られた7本のピークのうち、分子量242のものをHT242a~HT242dとし、分子量236のものをHT236a~HT236cとして測定、定量した。